

講座

特別陳列関連		
9月5日(土)	特別陳列「山辺の道の考古学」に寄せて	資料管理研究室長 前島 己基

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着130名限り。聴講無料。

ギャラリー・トーク

7月8日(水)	最澄の手紙	主任研究官 西山 厚
8月12日(水)	興福寺の仏像	主任研究官 井上 一稔
9月9日(水)	山辺の道周辺の古墳と仏教遺跡	考古室長 井口 喜晴

いずれも午後2時より、陳列室で開催。入館者は聴講自由。原則的に毎月第2水曜日に開催。

出版物の御案内

奈良国立博物館蔵品図版目録
当館の収蔵作品は、購入・寄贈および文化庁からの管理替えによって、小規模ながらも充実の度を加えてきています。そこで、所蔵の作品すべてについて、図版を掲げ、基本的なデータと参考資料を付して編集した目録を公刊し、観賞や研究の基礎資料として御利用いただこうとするものです。部門ごとに分けて、昭和63年度から毎年1冊づつ刊行中です。既刊は、「絵画篇」(3,500円)、「彫刻篇」(3,000円)、「書跡篇」(3,000円)、「考古篇 経塚遺物」(3,000円)、「工芸篇 仏教工芸」(3,000円)の5冊で、今年度は「考古篇 瓦埴類」を平成5年3月に刊行予定です。館内の売店で販売しています。

外国語による館案内パンフレットについて
当館には外国の方々も多く来館されていますが、展示の案内としては日本語によるリーフレットの一隅に短く英文を付す程度で、十分ではありませんでした。このたび東芝国際交流財団の御好意により、経費全額の援助を得て、外国語によるパンフレットを英語・中国語・ハングルの3種類作成し、入館者に無料で配布できるようになりました。国際社会に広く貢献するという目的の同財団の活動の一端であり、これが日本の仏教美術理解への手引きとして役立つように願っています。

開館時間	午前9時より午後4時30分まで（入館は午後4時まで）
休館日	月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館）

観覧料金	（特別展料金で平常展も観覧できます。団体は責任者が引率する20名以上）			
特別展		大人	高・大生	小・中生
	一般	790	450	250
	団体	530	250	130
平常展		大人	高・大生	小・中生
	一般	400	130	70
	団体	200	70	40

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月の各1日に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し返信用封筒（62円切手貼付、宛名明記）を同封して、当館の普及室にお申し込み下さい。

第2号

奈良
国立博物館
だより

平成4年 7・8・9月



双鳳文透彫杏葉（奈良県桜井市珠城山3号墳出土） 当館蔵
鉄地金銅張 古墳時代（6世紀）

特別陳列「山辺の道の考古学」より

特別陳列

興福寺の美術

7月18日(土)～8月16日(日)

新館

特別陳列
やまのべ みち
山辺の道の考古学
—古墳・祭祀遺跡・仏教遺跡の
出土品—

8月25日(火)～9月27日(日)
本館

興福寺の南円堂は、藤原氏の氏寺としての当寺の中でもとりわけ尊崇を受けた堂であるが、また他面では観音信仰にもとづく西国三十三所の札所としても一般の信仰を集めた。その南円堂で現在、江戸時代の再興後初めての大規模な解体修理が行われている。この機会に南円堂安置の諸尊をはじめ、興福寺に伝わる奈良時代から室町時代にわたる彫刻・絵画・書跡・工芸・考古遺品を展示するものである。

奈良盆地の東方山麓を南北に走る山辺の道は、三輪山麓から龍王山山系の裾野を通り、石上の森を縫って春日山麓へと続く古代の幹線道路で、その周辺には、今日もなお当時の歴史の雰囲気が漂っている。この展示は、そのような山辺の道沿いに点在する諸遺跡の出土品のうち、主要な祭祀遺物と、古墳や仏教遺物をはじめとする重要な遺品を紹介し、その歴史の一端に触れていただこうとするものである。

主な展示品

本 館		新 館							
考 古		彫 刻		絵 画		書 跡		工 芸	
七 月	7 月 1 日(水)～ 8 月19日(日) 【古代寺院の形態】 ●東大寺金堂鎮壇具（東大寺）、方形三尊埴仏一橋寺出土―（当館）、方形三尊石仏―南法華寺出土―（南法華寺）、◎鳳凰文埴（南法華寺）、塑像頭部―川原寺裏山出土―（明日香村）、塑造菩薩像頭部―定林寺出土―（当館）、塑造人物頭部―本薬師寺出土―（薬師寺）、百済出土古瓦、高句麗出土古瓦（当館）、法隆寺出土古瓦（法隆寺）、川原寺出土古瓦（奈良国立文化財研究所）、紀寺出土古瓦（当館）、慈光寺出土古瓦（火雷神社）、河内寺出土古瓦（大阪府教育委員会）、唐招提寺出土古瓦（唐招提寺）、秋篠寺出土古瓦（秋篠寺）、 【墳墓の変遷】 北和城南古墳出土品（当館）、群馬苗ヶ島古墳出土品（当館）、◎山代忌寸真作及妻墓誌（当館）、行基舍利瓶断片（当館）、平瓶形骨蔵器（当館）、◎出雲荻杵古墳出土品（当館）、 【経塚の遺宝】 ◎鍍銀経箱―金峯山経塚出土―（金峯神社）、銅経筒―平治元年銘―（当館）、瑠璃鈕銅板製経筒（当館）、◎藤原師道願経―金峯山経塚出土―（金峯神社）、◎紙本墨書法華経―三重・朝熊山経塚出土―（金剛証寺）、紙本朱書法華経―伝大分県出土―（当館）、銅板法華経―大分・長安寺旧蔵―（当館）、瓦経―福岡・飯盛山経塚出土―（当館）、◎線刻蔵王権現鏡像（金峯山寺）、青白磁合子等（当館）、◎滑石製弥勒如来坐像（当館）、◎伝福岡県出土銅経筒・滑石外筒（当館）、◎伝福岡県出土経塚遺物（当館）、	7 月 1 日(水)～ 9 月30日(水) 仏教彫刻の時代的変遷 【飛鳥時代】 ◎銅造誕生釈迦仏像（正眼寺）、◎銅造弥勒菩薩半跏像（神野寺）、◎銅造観音菩薩立像（法起寺）、【白鳳時代】 ◎銅造誕生釈迦仏像（悟真寺）、◎木造菩薩立像（金竜寺）、◎木造勢至菩薩立像（法隆寺）、◎銅板法華説相図（長谷寺）、 【奈良時代】 ◎銅造弥勒菩薩半跏像（東大寺）、◎銅造薬師如来坐像（当館）、◎乾漆金剛力士立像（当館）、●木心乾漆義淵僧正坐像（岡寺）、◎木心乾漆梵天立像（秋篠寺）	7 月 1 日(水)～ 9 月13日(日) 仏教彫刻の種類 【如来】 ●銅造誕生釈迦仏像および銅造灌仏盤（東大寺）、木造出山釈迦像（当館）、木造釈迦如来坐像（法隆寺）、◎銅造薬師如来立像（般若寺）、木造阿弥陀三尊像（峰定寺）、◎銅造阿弥陀三尊像（東京国立博物館）、◎銅造阿弥陀如来立像（善光寺）、◎木造阿弥陀如来坐像（当麻寺）、◎木心乾漆如来坐像（西大寺）、木造大日如来坐像（元興寺町）		～ 7 月12日(日) ◎釈迦三尊像（当館）、阿弥陀如来像（当館）、◎四十九化仏阿弥陀来迎図（光明寺）、◎阿弥陀十六観想図（阿弥陀寺）、◎法華経宝塔曼荼羅（立本寺）、◎遊行上人縁起（光明寺）、●不動明王二童子像（青蓮院）、法華曼荼羅（下部神社）、◎尊勝曼荼羅（当館）、◎文殊菩薩像（当館）、千手観音像（当館）、◎愛染明王像（宝山寺）、◎水天像（園城寺）	～ 7 月12日(日) 特集展示「高僧の筆跡と肖像画」 ●最澄（伝教大師）筆尺牘（当館）、◎伝教大師像（一乗寺）、◎金剛般若経開題―空海（弘法大師）筆―（当館）、◎弘法大師像（神護寺）、◎誓度院勅行規式―無本覚心（法燈国師）筆―（興国寺）、◎法燈国師像（興国寺）、◎寂尊（興正菩薩）自筆書状（西大寺）、◎興正菩薩像（新大仏寺）、夢窓疎石墨跡（当館）、◎夢窓国師像（妙智院）、◎一休宗純墨跡「諸悪莫作、衆善奉行」（真珠庵）、一休和尚像（当館）	～ 7 月12日(日) ●鉄宝塔（西大寺）、◎銅鉦鼓（手向山神社）、◎金銅草花文磬（峰定寺）、◎金銅蓮華形磬（赤松院）、金銅孔雀文磬（当館）、◎銅三具足（聖衆来迎寺）、●金銅幡頭（中尊寺）、◎黒漆螺鈿卓（東大寺）、◎金銅透彫経筒（万徳寺）、◎黒漆経箱（中尊寺）、◎孔雀文沈金経櫃（当館）、◎春日神鹿御正体、◎線刻阿弥陀如来鏡像（当館）、十一面観音懸仏（当館）、◎山王十社懸仏（当館）		
	7 月13日(月)～17日(金) 休館								
八 月			7 月 1 日(水)～ 9 月13日(日) 【菩薩】 ◎銅造観音菩薩立像（法隆寺）、銅造観音菩薩立像（当館）、木造虚空蔵菩薩半跏像、◎木造准胝観音立像、◎木造聖観音立像（融念寺）、◎木造地藏菩薩立像（融念寺）、◎木造地藏菩薩立像（東大寺）、◎木造明星菩薩立像（弘仁寺）		7 月18日(土)～ 8 月16日(日) ◎仏涅槃図（浄土寺）、◎普賢菩薩十羅刹女像（当館）、文殊菩薩像（当館）、観音・地藏菩薩像（南法華寺）、●地獄草紙（当館 写真）、●六道絵のうち等活地獄図（聖衆来迎寺）、三井寺証空縁起（当館）、◎二河白道図（万福寺）、◎阿弥陀聖衆来迎図（松尾寺）、 ◎大仏頂曼荼羅（当館）、◎七髻文殊菩薩像（宝寿院）、◎五大尊像（観音寺）	特別陳列「興福寺の美術」 7 月18日(土)～ 8 月16日(日) 【彫刻】 ◎乾漆十大弟子像のうち舍利弗・目犍連、◎乾漆八部衆像のうち緊那羅、●板彫十二神将立像のうち波夷羅・珊底羅・摩虎羅・真達羅、◎木造広目天立像、◎木造四天王立像（南円堂）四軀のうち広目天・多聞天、◎木造大黒天立像、◎木造法相六祖坐像のうち伝行賀像（写真）・伝常騰像・伝玄寶像、◎木造化仏・飛天、◎厨子入木造吉祥天倚像 【工芸】 ◎金銅燈籠火袋のうち第一・二、黒漆塗舍利厨子 【考古】 ◎興福寺金堂鎮壇具、北円堂荘嚴具、東金堂緑袖埴、食堂二・三彩袖陶器片 【書跡】 ◎細字法華経、◎成唯識論卷第十、◎紺紙金字成唯識論、◎色紙薬師経、◎紺紙金泥金剛般若波羅蜜多経、◎宋版一切経 4354帖のうち解脱道論第一・大宝積経第百二・大仏頂首楞嚴経第一、◎日本霊異記 上巻、◎紙本墨書大慈恩寺三蔵法師伝 10巻のうち巻第一・二・十、◎紙本墨書僧綱補任、維摩会表白（二十八函四・五）、◎明本鈔 13巻のうち巻第六・十・十三 【絵画】 ◎慈恩大師像（大乘院伝来）、◎慈恩大師像（一乗院伝来）、◎涇州大師像、漢陽大師像、法相曼荼羅図、◎護法善神図絵屏（12面のうち常騰・法涌・阿難・玄奘・広目天・多聞天）◎二天王像、釈迦十六善神像（芝法眼筆）、如意輪観音像、春日鹿曼荼羅図、春日社寺曼荼羅図			
	8 月17日(月)～21日(金) 休館								
九 月	特別陳列 「山辺の道の考古学」 ―古墳・祭祀遺跡・仏教遺跡の出土品― 8 月25日(火)～ 9 月27日(日) 纏向遺跡出土品（橿原考古学研究 所付属博物館）、三輪山山麓出土品（大神神社）、◎石上神宮禁足地出土品（石上神宮）、大和天神山古墳出土遺物（当館）、◎渋谷出土石枕（関西大学）、珠城山1号墳出土遺物（当館）、珠城山3号墳出土遺物（当館）、◎山村廃寺出土石製九輪・付金銅風鐸（円照寺）、山村廃寺出土蓮華文鬼瓦、◎横井廃寺出土品（大阪市立美術館）、◎佐井寺僧道薬墓誌及骨壺（当館）など。	【平安時代】 ●木造薬師如来立像（元興寺 写真）、●木造薬師如来坐像（当館）、◎木造弥勒如来坐像（東大寺）、◎木造伝日羅像（橘寺）、●木造八幡三神像（薬師寺）、◎木造十一面観音菩薩立像（当館）、◎木造如意輪観音坐像（当館）、◎木造千手観音坐像（峰定寺）、◎木造不動明王二童子像（峰定寺）、◎木造毘沙門天立像（峰定寺）、木造大將軍神坐像（当館）、◎木造獅子像（当館）、木造五大明王像（当館）、◎木造金剛力士立像（財賀寺） 【鎌倉時代】 ◎木造不動明王坐像（正寿院）、◎木造釈迦如来立像（峰定寺）、◎木造釈迦如来坐像（東大寺）、◎木造地藏菩薩立像（春覚寺）、◎木造地藏菩薩立像（長命寺）、木造弥勒菩薩立像（林小路町）、◎木造馬頭観音立像（浄瑠璃寺）、木造如意輪観音坐像（当館）、木造大黒天立像（当館）、 【南北朝時代】 木造四天王立像（霊山寺）	7 月 1 日(水)～ 9 月13日(日) 【天】 ◎木造十二神将立像（室生寺）、木造十二神将立像（当館）、◎木造持国天立像（東大寺）、◎木造多聞天立像（東大寺）、 【垂迹神】 ◎銅造蔵王権現立像（当館）、銅造蔵王権現立像	8 月22日(土)～ 9 月13日(日) 特集展示「羅漢図」 ◎十六羅漢像（長寿寺）、◎十六羅漢像（建仁寺）、◎十六羅漢像（宝蔵寺）、◎五百羅漢像（大徳寺）、◎大仏縁起（東大寺）	8 月22日(土)～ 9 月13日(日) 特集展示「法華経」 紫紙金字法華経（当館）、●一字蓮台法華経（龍興寺）、◎色紙法華経（当館）、法華経断簡〈蝶鳥切〉、法華経卷第一（当館）、紺紙金字法華経（興聖寺）、◎紫紙金字法華経（乗宝寺）、法華経妙音菩薩品（施福寺）、●法華経〈一品経〉（長谷寺）、◎法華経・（付）後村上天皇宸翰寄進状・頼宝施入状（丹生都比売神社）	8 月22日(土)～ 9 月13日(日) 金銅棺形舍利容器（当館）、◎銅鐔口（長谷寺）、◎銅鉦鼓及び鉦架（東大寺）、黒漆塗磬架（当館）、金銅錫杖頭、銅錫杖頭（施無畏寺）、金銅柄香炉（高山寺）、◎金銅宝相華尾長鳥文透彫華鬘、刺繍釈迦・阿弥陀二尊繡仏、神護寺経・経帙・経櫃（当館）、◎線刻阿弥陀如来鏡像（当館）、◎線刻十二尊鏡像（当館）、◎山王十社懸仏（当館）、◎春日神鹿御正体			
	9 月14日(月)～10月下旬 休館								

●国宝、◎重要文化財。 展示品は都合により一部変更する場合があります。